

令和8年度 江戸川区立鹿骨松本小学校 人権教育年間指導計画（第5学年）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	「鹿骨松本小スタンダード」をもとに人権教育のねらいを位置付ける。												
	児童相互の人間関係を把握する。	集団生活を通し、協力して物事を成し遂げることの楽しさを知るとともに、自分の役割と責任について理解する。					基本的人権について学ぶ。			いじめ等、身近な人権侵害に気付き、人権を守ることの大切さを知る。			
	一人一人が活躍できる場を設定し、学級で自己有用感や安心感をもつことができるようにする。											1年間を振り返らせ、自己の成長を確認する。	
各教科 読書科 外国語 総合的な学習の時間	<b>国語</b> 正しい日本語を教え、他者との好ましい人間関係に役立つよう指導する。	<b>算数</b> 筋道を立てて考え、答えに到達することの大切さを教える。	<b>外国語</b> 外国語にふれることとおして、世界には様々な人が暮らし、様々な文化があることを理解する。	<b>総合</b> 学習をとおして他者共に尊敬し、好ましい人間関係を作り、自他の自立に貢献できるようにする。	<b>体育</b> 友達と共に楽しく運動しながら、健康な心と体を作る。	<b>音楽</b> 楽しく音楽活動をしなが、情操を高める。	<b>図工</b> 楽しく造形活動を行いながら、情操を高める。	<b>読書科</b> 読書を通じた多角的な心情理解により、人権を認め合う心を育む。					
特別の教科 道徳	<b>礼儀</b> 明るく挨拶ができるようにする。	<b>思いやり</b> 思いやりの気持ちをもつ大切さについて考える。	<b>公德心、信頼・友情</b> 節度や節制、自立について指導、信頼や友情について考える。	<b>生命尊重、感謝</b> 生命尊重について考える。感謝の気持ちの大切さを学ぶ。	<b>公德心</b> みんなのものを大切にしようとする態度を育てる。	<b>礼儀</b> 礼儀正しさを挨拶について考える。	<b>愛校心</b> 学校への愛校心を高める。	<b>郷土愛、感謝</b> 自分の住む地域や学校について考え、感謝の気持ちをもつ。					
特別活動	<b>なかよし班活動</b> 縦割り班活動をとおして上級生を尊敬し協力する態度を育てる。			<b>花卉栽培</b> 植物の栽培を通して生命を尊敬する態度を育てる。			<b>よりよい学校づくり活動</b> 学校の良さを知り、愛校心を育てる。						
	<b>1年生を迎える会</b> 学校の一員として、互いに仲良くする心情を育てる。		<b>ユニセフ募金</b> 「外国人」善意が集まると力になることを学ぶ。			<b>係や当番活動</b> 定期的に振り返りを行い自分でよりよく成長していけるようにする。			<b>6年生を送る会（3月）</b> 6年生に感謝の気持ちをもつ。				
その他	<b>保護者会・個人面談（1・2学期）</b> 学校としての目標や学年としての方針を説明する。			<b>ヤギと触れ合う時間（通年）</b> 自他の生命を尊重する心情を育てる。			<b>ウインタースクール（2月）</b> 寒さの厳しい地域の中で、共同生活及び様々な体験活動を通し、豊かな心を育成する。						
	<b>挨拶活動（通年）</b> 挨拶をとおして温かい人間関係の基礎を養う。			<b>ふれあい月間（いじめ防止）各学期</b> いじめの未然防止・早期発見・解決を図る。			<b>道徳授業地区公開講座</b> 学校・家庭・地域社会が一体となって道徳教育の充実を図る。			<b>ふれあい月間（不登校対策）</b> 学校生活を安心して楽しく過ごす。			

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題）    ↔ = 関連的な指導      = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導